



上：面取り 中：筋目付け 下：目打ち



### 工程3 皮革パーツの製作

パーツごとに分けられた皮革は、ひとつずつ完成したパーツへ仕上げられます。まず再断面がきれいに面取りされ、コテで筋目が入られます。手縫いされる部分へは、等間隔で穴を開けるノミで目打ちされています。



上下：曲線のある鞆のフタ部分の木枠と革の縫付け



### 工程4 木枠と革の縫製

このマシンは、木枠と革を縫付けるドイツ生まれの強力なマシンです。針の部分だけ飛び出ているので曲線や細いところまで針が入ります。1960年代に導入されてそれまで鋸留めされていたものを縫えるようになりました。

